

～アークヒルズ開業 30 周年 3 つの最新イノベーション施設誕生記念～  
**未来の TOKYO を“音”をテーマに体感できる屋外イベント**  
**「SOUND & CITY」をアークヒルズで初開催！**

～開放的な人工芝の上で新感覚のインスタレーションを体験できるブースやトーク、ライブなど

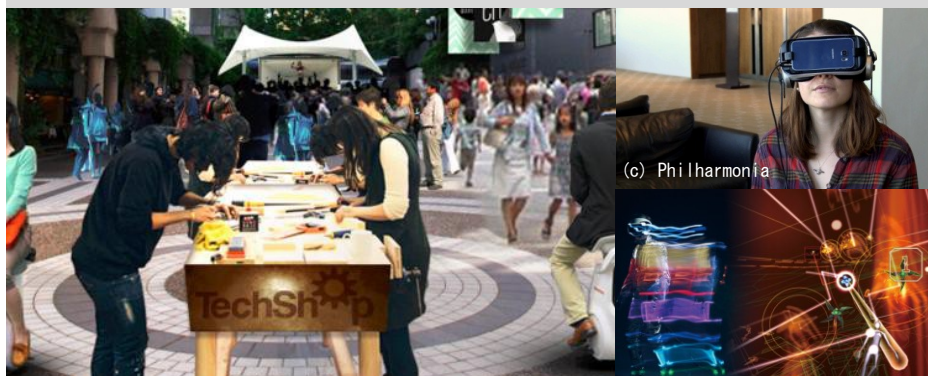
今春、開業 30 周年を迎えたアークヒルズ(東京都港区)では、4月28日(木)～29日(金・祝)の2日間、アーク・カラヤン広場にて、「SOUND & CITY」を初開催いたします。「SOUND & CITY」は、都市とのインタラクション・新しいイマジネーションをコンセプトに、“音”という身近なテーマを通じて未来を感じることができる新感覚イベントです。今春アークヒルズに3つの新たなイノベーション拠点「TechShop Tokyo」、「KaleidoWorks」、「WIRED Lab.」が集積したことを機に、アークヒルズを舞台に3施設がコラボレーションし、実現しました。

当日は、アーク・カラヤン広場に、最新テクノロジーを駆使した日本初のインスタレーションを体験できるブースや、これからの日本を牽引する若い世代のクリエイターやイノベーターが登場するトークセッション、ライブパフォーマンスなどを展開します。会場中央には人工芝を敷き、開放的な空間で気軽に未来のテクノロジーに触れることができる屋外イベントです。アークヒルズから、新しい未来、ひいては東京の更なる進化に繋がる価値観や体験を提供してまいります。

《SOUND & CITY 開催概要》

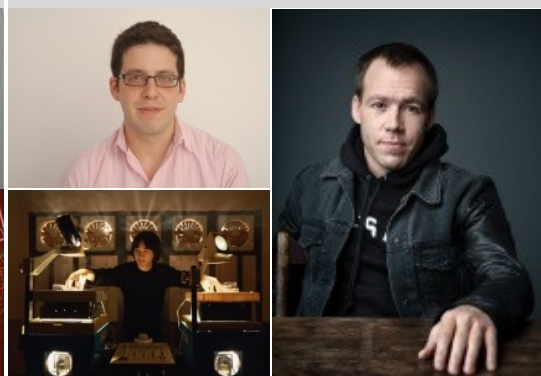
- タイトル: SOUND & CITY
- 日 程: 4月28日(木)～4月29日(金・祝) 11:00～22:00 ※雨天決行、荒天中止
- 場 所: アークヒルズ アーク・カラヤン広場、WIRED Lab.、TechShop Tokyo、アークヒルズカフェ
- 料 金: 無料(アークヒルズカフェ内のプログラム、及びワークショップのみ有料)
- 主 催: 森ビル株式会社
- 協 賛: 富士通株式会社
- 企画制作: WIRED Lab. (Rhizomatiks+『WIRED』日本版)、TechShop Tokyo、KaleidoWorks
- 特別協力: プリティッシュ・カウンシル
- 協 力: J-WAVE、ヤマハ株式会社、ヤマハ発動機株式会社、本田技研工業株式会社、株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント、ゼンハイザージャパン株式会社、W's Company、VIE SHAIR、Beatink

未来のテクノロジーを体感できるインスタレーション・ワークショップ



新設される3つのイノベーション拠点

トークセッション&カンファレンス



ライブパフォーマンス



取材に関するお問合せ先

森ビル株式会社 タウンマネジメント事業部 (アークヒルズ PR)  
担当: 山崎、藤富、山村 TEL: 03-6406-6382

株式会社プラップジャパン  
担当: 中野、須藤 TEL: 03-4580-9101

## トークセッション／カンファレンス

アーク・カラヤン広場のメインステージでは、音楽・ビジネス・テクノロジーなどをテーマに複数のトークセッション(無料)を開催。また、アークヒルズカフェでは、音楽家、起業家たちが「音楽の未来」のビジョンを明かすカンファレンス(有料)を開催します。

### <トークセッション(一部)> ※会場:アーク・カラヤン広場 特設ステージ(無料)

4月28日(木)18:00~19:00

ラップアップセッション ※3 施設の代表者によるトークセッション

スピーカー:

○一般社団法人 日本ベンチャーキャピタル協会  
会長 仮屋 聡一(左上)

○TechShop Japan  
代表取締役社長 有坂 庄一(右上)

○WIRED 日本版 編集長 若林 恵(左下)

モデレーター:

ライゾマティクス代表取締役社長 斎藤 精一(右下)



4月29日(金・祝)14:00~14:45

KaleidoWorks トークセッション 「(仮)進化する起業家」

スピーカー:

C Channel 株式会社  
代表取締役 森川亮(写真右)

※他1名(予定)

モデレーター:

B Dash Ventures 株式会社  
代表取締役社長 渡辺洋行(写真左)



### <カンファレンス> ※会場:アークヒルズカフェ(有料) ※1DAY TICKET3,500円

#### ■Day1 4月28日(木)

##### ①13:00~13:50 未来の「サウンドライフ」をテクノロジーでデザインする方法

Guy Haviv

航空業界においてエキスペリエンスデザインのほか指令システムのフレームワークなどの策定を手がけたのち、Designitに参加。UXデザインの第一人者であると同時にデジタルテクノロジーにも精通し、これまでマイクロソフトやシスコといった大企業の仕事を手がけてきた。



##### ②14:00~15:20 beats プレジデントが語る「音楽体験と音楽ビジネスの未来」

Luke Wood

Beats by Dr. Dre (Beats)プレジデント。Interscope Geffen A&M (IGA)のチーフ・ストラテジー・オフィサーを務めた後、imprint DGC Records の代表として Weezer, All American Rejects、Rise Against、Yeah Yeah Yeah など、多くのアーティストを輩出した。



##### ③15:30~16:20 英国を代表するオーケストラの一つであるフィルハーモニア管弦楽団は、いかにテクノロジーと融合するか

Stephanie Clarke

英国フィルハーモニア管弦楽団のデジタル・プロジェクトマネジャー。アプリ、大型インスタレーション、VR など、次々と新しい音楽体験を生み出すデジタル・チームで企画運営からコンテンツのツアー管理を担当。



##### ④16:30~17:50 風営法改正記念！夜の市長と新しいナイトシーンの作り方

坂口 修一郎

ミュージシャン／プロデューサー。1993年無国籍楽団ダブルフェイスを結成。現在はランドスケーププロダクツ内にディレクションカンパニーBAGN Inc.を共同設立。ジャンルを越境したイベントのプロデュースを多数手がけている。



斎藤 貴弘

弁護士。2012年に斎藤法律事務所設立。近年は、ダンスやナイトエンターテインメントを広範に規制する風営法改正をリードするとともに、ナイトカルチャーやナイトエコノミーが持つポテンシャルを魅力ある都市づくりに生かすべく、新しい業界作りをサポートしている。

#### ■Day2 4月29日(金・祝)

##### ①12:00~12:50 気鋭のサウンドデザイナーが語るフィールドレコーディングの魔法と「音の旅」

森永 泰弘

1980年生まれ。サウンドデザイナー。現在は、アジアを中心にフィールドワークを実践しながら、ジャンル横断的な制作活動を展開している。フィールドレコーディング作品をリリースするレーベル Concrete を主催。



##### ②13:00~14:20 和田永が構想する「ニコス・ラボ」とは何か？参加型ラボの未来図を語る

和田 永

1987年東京生まれ。大学在籍中よりアーティスト／ミュージシャンとして音楽と美術の間の領域で活動を開始し、2015年より役割を終えた古家電を新たな電子楽器として蘇生させ、合奏する祭典を目指すプロジェクト「エレクトロニコス・ファンタスティクス！」を開始。あらゆる人を巻き込みながら新たな楽器を創作し、量産し、奏法を編み出し、徐々にオーケストラを形づくっていくプログラムを展開している。



##### ③14:30~15:50 VESTAX 創業者が明かす「クリエイティブ・ハードウェアメーカー」の真髄

権野 秀聡

1947年生まれ。起業家。1977年に権野楽器設計事務所を設立後1987年に「VESTAX」を設立。ボイスチェンジャー、エフェクター、マルチレコーダー、デジタル機器、DJ機器などを開発・生産・販売し、世界市場で絶大な信頼を得る。現在は、破綻したVESTAXの再興を目指し、「STP VESTAX」として2016年5月に新製品を投下する予定。



##### ④16:00~17:20 気鋭の電子音楽家と語る「クリエイティブのR&Dと『音楽家』の行方」

agraph

電子音楽家・牛尾憲輔のソロユニット。2008年にソロユニット"agraph"としてデビューアルバム『a day, phases』をリリース。石野卓球をして「デビュー作にしてマスターピース」と言わしめた。アニメ、映画音楽などの制作へと活動領域を広げている。





## インスタレーション & ワークショップ

メイン会場であるアーク・カラヤン広場では、新しい「音」の楽しみを発見することをテーマに、最新テクノロジーを駆使したエンターテインメント、インスタレーション、ワークショップを開催します。「音」という身近なテーマを通じて未来を感じることができる新感覚イベントです。

### ◀体験型 コンテンツ内容(一部)▶

#### 1. The Virtual Orchestra

日本初

～クラシック演奏をオーケストラ目線で、VR 体験～

英国を代表するオーケストラの一つであるフィルハーモニア管弦楽団はデジタル技術を取り入れ教育コンテンツなど様々な新しい取り組みを展開。VR 体験、楽器体験など。

【協力】プリティッシュ・カウンシル



#### 2. Play Me, I'm Yours

日本初

～1 台のピアノが人をつなぐ、街をつなぐ～

ピアノを弾き、聴くことで、市民が街を「自分たちの場所」として見つめなおし、人と街の新たな関係性を生み出すインスタレーション。これまでに作品に触れた人の数は世界中で1千万人にも上る。今回日本初開催となる。

【協力】プリティッシュ・カウンシル

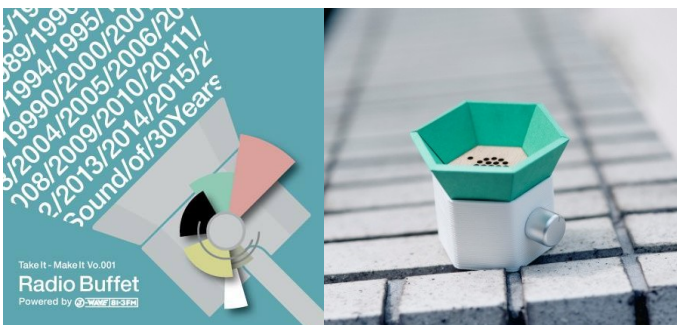


#### 3. Radio Buffet

～自分だけの「オリジナル・ラジオ」を作ろう！～

TechShop Tokyo が「SOUND & CITY」のために開発したオリジナルのラジオ組み立てキット。自作のラジオを片手に広場内を回遊し、インタラクティブにサウンドスケープを楽しめる。

【提供】TechShop Tokyo 【協力】J-WAVE



#### 4. Trading Garden

～未来のモビリティに乗って過去へサウンドスリップ～

ヘッドセットをしてホンダのユニカブに乗ると、アークヒルズが昭和の頃のかつての「麻布谷町」へとタイムスリップ。ユニカブに乗車してのインスタレーションは初めて開催となる。

【協力】本田技研工業株式会社、森永泰弘、VIE SHAIR



#### 5. Future Music & Shoes Experience

～「靴のIoT」から新しい音楽が生まれる～

「靴」をインターフェイスとして、身体や環境データなどを収集・解析することで、様々なソリューションを生み出す、未来のIoTプラットフォームが、ヤマハとのコラボレーションで音のソリューションを提案する。

【提供】富士通株式会社、ヤマハ株式会社



#### 6. Rez Infinite -Synesthesia Suit

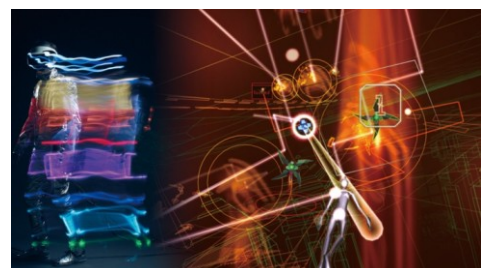
Tetsuya Mizuguchi + Rhizomatiks Architecture + Keio Media Design

～伝説のゲームを全身で「体感」する～

五感の共振をテーマに、ゲームのサウンドに合わせてインタラクティブに反応する「シネスタジアム・スーツ」を開発。

PlayStation®VR からの視覚・聴覚体験に加え、触覚まで作用する「共感覚」エンターテインメント。その未知なる体験を一度味わってみよう。

【協力】株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント



## ライブパフォーマンス

メイン会場であるアーク・カラヤン広場や、アークヒルズカフェでは、アーティストによる SOUND & CITY のための特別ライブパフォーマンスを開催します。古い電化製品を使って自ら生み出した楽器を使ってサウンドを奏でるアーティスト和田永氏や、中古の CD やパソコンを使って楽曲制作に取り組む Tofubeats (トーフビーツ) などユニークで個性的なアーティストが、「SOUND & CITY」を盛り上げます。4月28日(木)11:30~14:00は、メインステージから J-WAVE「Beat Planet」の公開生放送も実施予定です。

### <スケジュール>

時間	場所	プログラム	アーティスト
<b>4/28(木)</b>			
19:15~	カラヤン広場	無料 映像と音のめぐるめくインタラクシオン	中山 晃子
20:00~	アークヒルズカフェ	入場料 2,000 円 (1 ドリンクつき) 活け花とモジュラーシンセの不可思議な邂逅	Seiho (セイホー)
<b>4/29(金・祝)</b>			
17:30~	カラヤン広場	無料 SOUND & CITY のためだけのアンビエント・セッションを披露	Tofubeats (トーフビーツ)
19:00~	カラヤン広場	無料 廃棄家電を通して人と音楽とが甦る	和田 永
20:00~	アークヒルズカフェ	入場料 2,000 円 (1 ドリンクつき) 音と映像をスクラッチ！会場全員で遊ぶリズムプレイ！	Hifana (ハイファナ)

### <アーティスト>

#### ①中山 晃子

画家。液体から固体まで様々な材料を相互に反応させて絵を描く“Alive Painting”というパフォーマンスを行う。科学的、物理的な法則に基づくあらゆる現象や、現れる色彩を、生物や関係性のメタファーとして作品の中に生き生きと描く。ソロでは音を「透明な絵の具」として扱い、絵を描くことによって空間や感情に触れる。

#### ②Seiho (セイホー)

アシッドジャズが鳴りまくっていた大阪の寿司屋の長男にして、2013年、中田ヤスタカらと並び MTV 注目のプロデューサー7人に選出され、Sonar Sound Tokyo に国内アーティストとしては初の2年連続出演、Mount Kimbie、2 Many DJ's、Flying Lotus らの日本ツアー・オープニングまたは共演、そして同郷 Avec Avec とのポップデュオ Sugar's Campaign でも注目度↑↑↑のビートメーカー兼 DJ 兼プロデューサー。

#### ③Tofubeats (トーフビーツ)

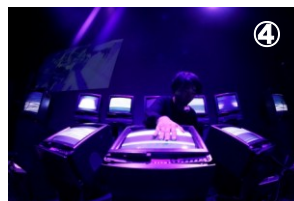
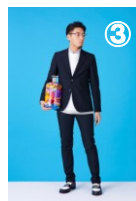
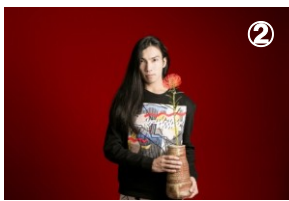
1990年生まれ、神戸で活動続ける Produce/DJ。学生時代からインターネットで活動を行い、SMAP、YUKI、ももいろクローバー、Flo Rida、Para One、くるり等のリミックスを手掛ける。中古 CD やパソコンを駆使した楽曲制作を行っている。インターネットを利用して楽曲発表を行うことで WIRE 出演やメジャーシーンの大物アーティストとのコラボレーションを成功させるなど、若くして数々の実績をあげている。

#### ④和田 永

1987年東京生まれ。大学在籍中よりアーティスト/ミュージシャンとして音楽と美術の間の領域で活動を開始し、2015年より役割を終えた古家電を新たな電子楽器として蘇らせ、合奏する祭典を目指すプロジェクト「エレクトロニコス・ファンタスティコス！」を始動。あらゆる人を巻き込みながら新たな楽器を創作し、量産し、奏法を編み出し、徐々にオーケストラを形づくっていくプログラムを展開している。

#### ⑤Hifana (ハイファナ)

KEIZOmachine!とジーシーにより、1998年に活動開始。ライブでは、プログラミングやシーケンスをいっさい使用せずリアルタイムにサンプラーのパッドを叩いてビートを刻みスクラッチやパーカッションなどを乗せていく独特のスタイルと、GROUNDRIIDIMによるVJを迎えた音楽と映像との融合が特徴。現在は、数多くのCM/広告に楽曲を提供しつつ、多岐にわたるミュージシャンやクリエイターとのコラボ作品、国内外でのLIVEや企業の公演等、活動の幅を益々広げている。西アフリカの打楽器「アサラト」の世界的名手としても知られる。



## Food & Drink

清々しい人工芝に腰掛けながら、屋外で楽しむのにぴったりなドリンクやフードメニューを販売します。美味しいグルメやお酒を片手に、未来の TOKYO を想像する、ゆったりとしたひと時をお過ごし下さい。



※写真はイメージです

### <開催概要>

時間: 11:00~20:00

開催場所: アーク・カラヤン広場

# SOUND & CITY 全体プログラム

## <全体プログラム>

Day1 4/28	カラヤン広場	アークヒルズカフェ	WIRED Lab.	TechShop Tokyo	
	STAGE				
	トークセッション/ライブパフォーマンス (無料)	カンファレンス/ライブパフォーマンス (有料)	インストール	内覧/ワークショップ	
11:00	<b>11:00~20:00</b> <b>インストール</b> ※一部除く		<b>11:00~20:00</b> <b>インストール</b> Rez Infinite -Synesthesia Suit	内覧 ・13:00~ ・15:00~ ・17:00~ ・19:00~ (各30分程度の ツアー形式)	
12:00		<b>11:30~14:00</b> J-WAVE BEAT PLANET 公開生放送 ナビゲーター: サッシャ 出演: 水口哲也(メディアデザイナー)、 亀田誠治、tofubeats(トーフビーツ)			①13:00~13:50 Guy Haviv from Designit 未来の「サウンドライフ」をテクノロジーでデザインする方法 モデレーター: 若林恵(『WIRED』日本版編集長)
13:00		トークセッション (予定)			②14:00~15:20 Luke Wood from Beats by Dr. Dre beatsプレゼンターが語る 「音楽体験と音楽ビジネスの未来」 モデレーター: 若林恵(『WIRED』日本版編集長)
14:00					③15:30~16:20 Stephanie Clarke from PHILHARMONIA 英国を代表するオーケストラの一つであるフィルハーモニア管弦楽団 は、いかにテクノロジーと融合するか モデレーター: 斎藤精一(Rhizomatiks)
15:00					④16:30~17:50 斎藤 貴弘 + 坂口 修一郎 風営法改正記念! 夜の市長と新しいナイトシーンの作り方 モデレーター: 斎藤精一(Rhizomatiks)
16:00					
17:00					
18:00		18:00~19:00 ラップアップセッション Tech Shop Tokyo + Kaleido Works +WIRED Lab.			
19:00		19:15~20:00 ライブパフォーマンス 中山晃子			
20:00					20:00~22:00 ライブパフォーマンス Seiho (セイホー)
21:00					

Day2 4/29	カラヤン広場	アークヒルズカフェ	WIRED Lab.	TechShop Tokyo	
	STAGE				
	トークセッション/ライブパフォーマンス (無料)	カンファレンス/ライブパフォーマンス (有料)	インストール	内覧/トークセッション	
11:00	<b>11:00~20:00</b> <b>インストール</b> ※一部除く		<b>11:00~20:00</b> <b>インストール</b> Rez Infinite -Synesthesia Suit	内覧 ・11:00~ (各30分程度の ツアー形式) 13:00~13:30 YAMAHAトークセッション 「音楽とテクノロジーの交差点 が創造する未来」(無料)	
12:00		トークセッション (予定)			①12:00~12:50 Yasuhiro Morinaga 気鋭のサウンドデザイナーが語る フィールドレコーディングの魔法と「音の旅」 モデレーター: 若林恵(『WIRED』日本版編集長)
13:00					②13:00~14:20 Ei Wada + GUESTS 和田永が構想する「ニコス・ラボ」とは何か? 参加型ラボの未来図を語る モデレーター: 若林恵(『WIRED』日本版編集長)
14:00		14:00~14:45 KaleidoWorks トークセッション (仮)進化する起業家			③14:30~15:50 Hidesato Shiino from STP VESTAX VESTAX創業者が明かす 「クリエイティブ・ハードウェアメーカー」の真髄 モデレーター: 若林恵(『WIRED』日本版編集長)
15:00		トークセッション (予定)			④16:00~17:20 agraph 気鋭の電子音楽家と語る 「クリエイティブのR&Dと『音楽家』の行方」 モデレーター: 若林恵(『WIRED』日本版編集長)
16:00					
17:00					
18:00		17:30~18:15 ライブパフォーマンス Tofubeats			
19:00		19:00~19:45 ライブパフォーマンス 和田 永			
20:00					20:00~22:00 ライブパフォーマンス HiFana (ハイファナ)
21:00					



## 未来のイノベーション拠点となる新たな 3 施設

今春、アークヒルズに未来のイノベーションを生み出す原動力となる 3 つの施設がオープンしました。

世界で最も影響力のあるテクノロジーメディア「WIRED」が、日本初となる常設の研究・実験の場「WIRED Lab.」を開設。また、本格的な工作機器によりアイデアをカタチにできる会員制工房「TechShop」がアジア初進出。さらに今の日本を代表する独立系ベンチャーキャピタルが集うワークプレイス「KaleidoWorks」が誕生。これら各施設に集まる、新発想や志を持った人々が、アークヒルズという街を舞台に互いに交流することにより、アイデアがビジネスになるサイクル(=エコシステム)が形成されることを目指します。

### <イノベーション施設概要>

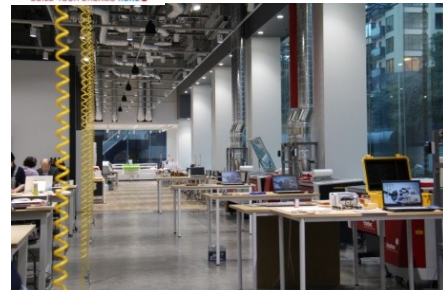
#### 「TechShop Tokyo」(テックショップ トウキョウ)

##### クリエイターやデザイナーがイノベーションに繋がるプロトタイピングを行う拠点

『BUILD YOUR DREAMS HERE』をコンセプトに掲げ、誰もが自由にアイデアをカタチにできる今まで日本になかったモノづくり施設「TechShop」のアジア第一号店。

本格的な工作機器により、アイデアをカタチにすることが容易になり、個人やベンチャーと大企業のコラボレーションなど、企業、起業家、クリエイター、学生、投資家、地域コミュニティが集い、オープンなイノベーションへの取り組みが日々実践される場となります。

(場 所)アーク森ビル 3F (営業時間) 10:00~23:00



KaleidoWorks



#### 「KaleidoWorks」(カレイドワークス)

##### ベンチャーキャピタリストを中心としたイノベーター達が集うビジネスクリエーション拠点

「起業」を一過性のブームには留めず、更なる発展と持続的なものにするための新たなビジネスクリエーションの場。現在日本を代表する独立系ベンチャーキャピタルが入居するオフィスエリアと、交流の場となるラウンジエリア「Crossover Lounge」で構成。幅広い領域でイノベーションを目指す人たちが、互いの領域を超えて交流できる場を提供し、新しいビジネスの創造に向けて必要な人材やアイデアを生み出していくことを目指します。

(場 所)アーク森ビル 3F

#### 「WIRED Lab.」(ワイアード・ラボ)

##### テクノロジーとカルチャーとが融合した

##### 「新しい都市生活」をめぐるリサーチ・教育・実験・実行の場

プリント版マガジン、ウェブメディア、リアルイベント、さらにはスクール事業などを通し、世の中を変えていくアイデアとイノベーションの最先端をレポートしてきた「WIRED」日本版による新しい組織+空間。よりよい未来の東京を思考し、つくっていくためのプラットフォームとして、ライゾマティクス協力のもと設立する新プロジェクト。

(場 所)アークヒルズ・ギャラリー

#### WIRED Lab.

Presented by WIRED + Rhizomatiks

